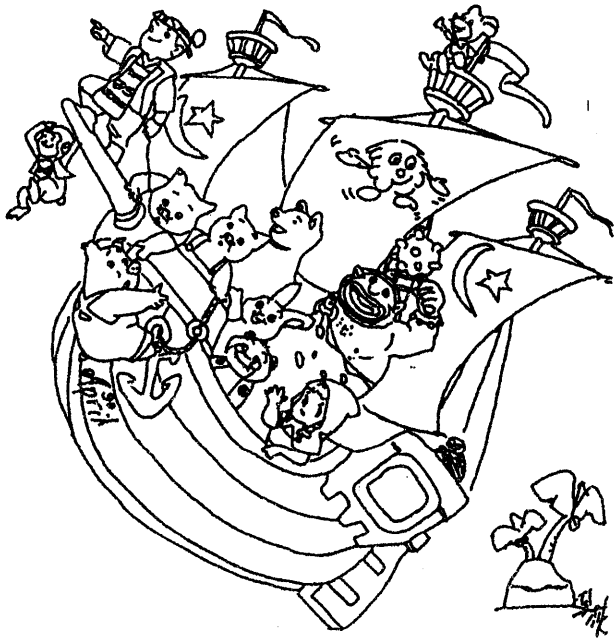


広島大学外国人留学生日本語研修コース  
第十期（1990年4月～1990年9月）

成 果 発 表 会



1990年9月18日（火）（9:30～10:30）

## プログラム

			ページ
1. 日本とインドネシアの関係	ガトット・ドワイアント	インドネシア	1
2. ありがとうございます	グエン・タン・スワン	ベトナム	3
3. どうして日本へ勉強をしに来ましたか	スハルトノ	インドネシア	5
4. 先生のぼうし	セリム・ユージャル・ゴランチ	トルコ	8
5. 日本語と日本のきこう	ヤヌアル	インドネシア	11
6. メキシコの山のお話	イシキ・イシハラ・マリオ	メキシコ	13
7. 6か月西条に住んでいます	ナナ・クスマ・プリアトナ	インドネシア	16
8. 日本での私	オスマン・ビン・フーシン	マレーシア	19
9. すごいね・・・	フランス・グルーバー・イヨン	インドネシア	21
10. 新かんせんから市電までの日本語	ハーン・マハムド	パキスタン	24
11. 不思議な日本	リカルド・シャビエル	ブラジル	27
12. 楽しい生活をください	シンボル・ルーデス	フィリピン	31

## 日本とインドネシアの関係

ガトット・ドゥイアット。

みなさんおはようございます。私の名前はガトットと申します。インドネシアからまいりました。はじめに私はすみませんと言うことばを使います。どうしてこのことばを使うのでしょうか。それは今私が日本語でせいしきにあいさつするのははじめとだからです。

日本とインドネシアの関係は四十五年間ぐらひあります。けれどもこの間の関係はたいへん悪かったです。しかし今、これまでとの関係と今日との関係はまったく違います。今、日本とインドネシアの関係はよくなっています。このことをみな様は信用なさいますか。みな様がもし信用なさらないなら、ぜひどうぞインドネシアに来てください。今、インドネシアのどこでも日本の物がたくさんあります。小さい物から大きい物まで日本から物が来ました。例えば、三菱の車やトヨタの車やオジの車などがありません。大きい物では例えば

いろいろ大きな工場を日本の企業が作り  
ました。これまで日本の企業はインドネシア  
の企業に少しずついろいろ科学技術をくち  
ました。そこでインドネシアもたいくさん新し  
い工業国になりました。これまでの日本との  
このいい関係をもっと長く続けたいです。今、  
日本企業はたくさん科学技術の調査研究のた  
めにインドネシア人を招待します。今、私の  
会社も日本の企業と関係があります、例えば  
N E D O Y A K Y O C E R A などの企業です。  
ここまで私のあいさつが終わります。たとえ  
うたとしても、私から日本のせいふや先生  
がたにとくべつに、ほんとうにありがとうござ  
いましたと言いたいです。また、私の友だち  
にもどうもありがとうございませうと言いた  
いです。それがいっか時間があつたらどうど  
私の新しい家に来てくださいます。どうも失礼し  
ました。またお会いしましょう。

み存様ありがとうございます。

グエン・タン・スワン  
私の名前はグエンタンスワンです。ベトナムからまいりました。六か月前に私たちは日本語の勉強をはじめました。私の専門は医学です。日本語研修コースを終わったから私は島根医科大学で医学の研究をします。はじめて日本へ来たので日本語がぜんぜんわかりませんでした。話すことも読むことも書くこともできませんでした。

私たちは先生がたに日本語を教えていたたきました。ほかの日本人からもおしえていたたきました。いっしょうけんぬいに勉強をしたのでたんたんわかるように存りました。

日本でいつもどこでも私たちは先生がたと日本人にいろいろ教えていたたいたので、しあわせでした。

先生がたはとてもやさしくて親切存先生です。見学する時に私たちは先生に日本語と日本文化を教えていたたいたので、私たちは、

今、日本文化もわかります。

私は井内先生に専門を教えていただきました。霞キャンパスの医学部で井内先生は私に医学の日本語を教えて下さいました。いろいろなことから、今、私は日本語を話すことも読むことも書くことも少しできます。私たちは日本語が上手になったのは、先生に教えていたからです。広島大学と先生がたのことを私はいつまでも忘れません。

あと私はいっしょうけんめいに専門を勉強したり、日本語を勉強したりします。

10月に私は島根医科大学へいきます。私は多和田先生や長友先生や西村先生や中川先生や田村先生や天満先生や戸田先生や今石先生のことを思い出してください。

国へ帰っても、私は広島大学と先生がたを忘れません。

いろいろどうもありがとうございました。

どうして、日本に勉強をしに来ましたか

スハルトノ

まず、私はスハルトノで、三十二歳です。

インドネシアから来ました。インドネシアで

はB P P Tに勤めています。B P P Tは英語

でAGENCY FOR THE ASSESSMENT AND APPLI

CATION OF TECHNOLOGY と言うのですが、

政府の機関です。B P P Tのすることは損害

評価をすることです。

私は今年の四月十一日に四十五人ぐらいの

友だちと一緒に日本に来ました。日本では彼

たちはいろいろな所に行きました。私たちは

インドネシアの政府に奨学金をもら、いま

す。

今、インドネシアの国は発展途上国ですけ

れども、人口の増加がたいへん早いのですから

、問題もたくさんあります。たとえば経済や

政治の問題などがあります。今、インドネシ

アの人口は一億八千万人ぐらいですが、経済

成長が一年間4%から6%ぐらいしかありま

せん。これは、私たちの大問題です。ですから、  
ら、おおぜいの技術の上手な人々も必要だろ  
うと思えます。とれど、おおぜいの人々が外  
国へ勉強をしに行きます。私もこの人々の中  
に含まれている一人です。

私は幸せ者ですが、どうしてでしょう。か。  
私は日本に送られて来たからです。今、世界  
では日本の技術がどこも有名ですから、私も  
日本の技術を勉強するつもりです。

私の専門は電気工学で、岡山大学で勉強をし  
ます。でも、そのまえに四月から九月まで広  
島大学で日本語の勉強をしました。日本語は  
難かしくとも、おもしろいです。五か月ぐら  
い私たちは一緒に勉強をしました。その間、  
先生は私たちに日本語の勉強をするのを易し  
くしてくださいました。気持ちも楽しかったで  
す。今、日本語の勉強が終ってしまいました  
。とれどは、このいい時に私は先生がたに短  
い言葉をさしあげたいです。先生、長い間ほ  
んとうにお世話になりました。ほんとうにと



うもありがとうございました。私の望みはい  
つか、どこかで先生とまた会いたいことです  
。最後に、お元気で。  
どうもありがとうございました。

先生のぼろ

セルム ユーザル コランチ

四月にヨーロッパとアジアのあいだにあるトルコからまいりました。67年前にトルコは「オスマントルコ」という大きな国でした。このオスマントルコは1299年から1923年まで六百年ぐらいつづきました。

オスマントルコ時代には往々は仕事によってちがう、ふくをき、ちがうぼうしをかぶっていました。ですからぼうしによって仕事は何かすぐわかりました。なくなった人のためにはかの上にぼうしのかたちにほったいしをのせました。

14世紀、オスマントルコのナスレツティンホージャ(ホージャは先生のいみです)というゆうめいなおとしより先生がいました。いまもトルコのまんなかにある「アクセヒル」というきれいなまちでせいかつしてました。しろいひげのあるこの先生のはなしはこれまでトルコのおちこちで聞くことができます。ナスレツティンホージャもオスマントルコ時代であから、先生のしろしの大ききぼうしをかぶっ

ていました。

ある日、となりの人が先生のじむしつに外国語で書いてある手紙をもって来ました。先生に「先生、この手紙を読んで下さい」とおねがいしました。先生は手紙に書いてある外国語をぜんぜんわかりませんでした。「この手紙に書いてあるげんごをしらないので読めません」といいました。となりの人はおこって「先生、どうして先生のぼうしをかぶっているのにこの手紙を読めませんか」とききました。先生は自分のぼうしをとってとなりの人のあたまにのせました。そして「もし、ぼうしで読めればどうぞ読んで下さい」といいました。

私は日本へ来るまでまったく日本語がわかりませんでした。日本語を勉強してトルコ語と日本語のぶんぼうがだいたい同じことをしっておどろきました。とまどまことばも同じ、どうしのタイムも同じです。

日本語コースの先生がたはいっしょうけんめいに日本語を教えて下さり、お話を聞かせ

ていただいてありがとうございます。国へ  
帰ってから、もし、となりの人が日本語で書い  
てあるものをもって来れば、私はそのものを  
読むことができますと思います。

これから私は島根大学法文学部にはいって  
日本の政治経済を勉強するつもりです。

みなさま、はなしを聞いて下さってありが  
とうございました。

# 日本語と日本のきこう

ヤヌア 14

私のなまえはヤヌア 14と申します。インド  
ネッパからまいりました。

もう六か月ぐらい日本にいます。その間毎日  
広島大学で日本語を習いに来ました。友だ  
ちはいろいろな国から来ていて、みんなと  
もやさしいです。先生もいろいろなこと  
を親切に説明してくださいました。わか  
れから、この日本語コースのことはわすれな  
いだろうと思います。たん語をおぼえたり文  
章を作ったりビデオを見たり、先生といろい  
ろな所へ行ったり、じうだんを言ったりして  
とても楽しくておもしろかったです。

はじめのときはあまり楽しくありません  
でした。日本語がわからなかったからです。  
今日本語にたんだんなれて来たので、その時  
より楽しくなりました。

日本語はたいへんおもしろいと思います。  
漢字は数も多いし読みがたもおもしろいです。

漢字を全部おぼえることはおரிだと思っ  
ています。が、私はいつもいっしょけんめい  
に勉強を  
して  
います。また、たくさん言葉  
を教  
え  
て  
も  
ら  
っ  
て  
も  
あ  
ま  
り  
使  
わ  
な  
か  
っ  
た  
ら  
日  
本  
語  
が  
上  
手  
に  
な  
ら  
な  
い  
と  
教  
わ  
り  
ま  
し  
た。

日本のきこうは私の国のきこうとちが  
います。日本には春、夏、秋、冬  
の四つのきせつ  
があります。が、私の国はうきと  
かんきの二つの  
きせつだけ  
です。一年中  
あまり  
きおん  
のへん  
か  
は  
あ  
り  
ま  
せ  
ん。

日本人の生活の中  
で  
き  
せ  
つ  
の  
へ  
ん  
か  
を  
楽  
し  
む  
こ  
と  
は  
と  
く  
に  
た  
い  
せ  
つ  
で  
す。  
春、夏、秋、冬  
と  
き  
せ  
つ  
に  
よ  
っ  
て  
食  
物、着  
物、自然  
な  
ど  
の  
変  
化  
を  
楽  
し  
み  
ま  
す。  
春  
の  
さ  
く  
ら  
は  
有  
名  
で  
す。  
花  
が  
終  
る  
と  
梅  
雨  
が  
来  
ま  
す。  
毎  
日  
雨  
が  
ふ  
り  
ま  
す。

先生がたには、いろいろ教  
え  
て  
い  
た  
だ  
き、  
ほん  
と  
う  
に  
あ  
り  
が  
と  
う  
ご  
ざ  
い  
ま  
し  
た。

メキシコの山のお話

イシキ・イシハラ・マリオ

私の国には森林もサボテンの生えた所もあるし、池も海もあるし、高山もあります。

今日は二つの高山のむかしのお話をいたします。

むかしむかし、メキシコシテ、は大きい湖で人々はそのまわりに住んでいました。その町にポポカテペトゥルという男が暮らしていました。ある日スギの林を歩いていると白くて雪のような美人ととしをとったおぼろさんたちがいっしょに通りました。その日からご飯も食べず夜も眠らないうで、いつモイスタスイワマトゥルという美人のことを考えていました。でもその女性はとくべつな人なので、だれかが愛したら、おぼろさんたちにこぼされるので静かに住んでいました。

ある日、お月様がまんまるのとき、ポポカテペトゥルが花畑で石に坐っているとき急に空がたくさんのふくろうで暗くなりました。

この鳥が空を飛ぶ時はだれかが死ぬしるしです。

その後、遠くから葬式の歌が聞こえて来ました。だんだん声がポポカテペトゥルの近づくに来ると、二つめの船が見えて来ました。一つの船にはおぼうさんたちと無くなった人げんが乗っていました。ポポカテペトゥルが急いで立って見ると、おどろきました。その死人はイスタスイワマトゥルでした。

おぼうさんたちは小さな山の上にイスタスイワマトゥルを置いて、お祈りをして帰りました。おぼうさんたちが見えなくなったとき、ポポカテペトゥルは湖を泳いで渡ってイスタスイワマトゥルのそばに行くとキスをすると、じごくのかみさまがそれを見て怒って矢をポポカテペトゥルに射しました。かれはイスタスイワマトゥルの足の前に倒れて無くなりました。そのあと二つの体は雪でおおわれました。

そのときからメキシコシティの東に大きくて一年じゅう雪でおおわれた二つの山があり



ます。左側には女の人が寝た形の山があって、  
その山はこの話の時はのぼれないう山でした。  
そしてこの山の右側にけむりがでる山があり  
ます。このけむりはポポカテペトルをおも  
う心の火と言われていきます。

このお話のような、親しい友達と本物の家  
族の愛は何百年以上も生きていきます。

6カ月西条に住んでいます。

ナナクスマプリアトナ

みな様、おはようございます。

私の名前はナナクスマプリアトナと申します。インドネシアからまいりました。

私のスピーチは「6カ月西条に住んでいます。」というトピックです。どうしてでしょう。初めて日本に来た、初めて長い間西条に住んでいるからです。ことわざには一番目の場所はいつも思い出になるとあります。

今日、1990年9月18日、私はもう161日日本に住んでいます。でも、西条に住んだのが全部ではありません。たとえば、時々横浜で泊まって、時々長崎で泊まりました。よく時々駅でも泊まらなければなりません。でした。

初めて西条に来たのは夕方でした。西条はもう静かでした。その時方が毎晩、私の部屋ががこちろぎの音がいつも聞こえました。それが時々救急車と自動車のタイヤの声も聞

こえました。

西条町は小さくとても静かなのに、公衆設備が  
完全です。たとえば、デパートがあつて、広  
島大学もあつて、プールやテニスコートもあ  
ります。そして、恋人と会う場所もあります  
。でも、映画館は一つもまだありません。ざ  
んねんぞうね。

西条は勉強をするためにいい所です。大気  
汚染と騒音公害はまだありません。それから  
安全もまだいいです。たとえば、どこにも自転  
車を置いて大丈夫です。外へ行く時、私は  
戸の鍵をかけなかつたことがあつて、広島  
へ行きました。帰つた時は部屋の中に全部ま  
だありました。

毎週、私と友だちは自転車で西条の回りに  
行きます。ビルがだんだんたくさんできて、  
田はだんだんせまくなりました。面白いこと  
は田で仕事をする人はいつも老人ですが、機  
械を使います。私の国と違います。私の国で  
は老人と若い人は田で仕事をします。機械

は夫が使いません。米の味も違います。

6か月という短い期間でしたが、楽しかったです。毎日、私は広島大学で先生に日本語を教えたいただきました。毎日、私はラジオを聞いたり、テレビを見たり、新聞を読んだりしました。ですから、私はだんだん日本語が話せるようになりしました。

先生がたには、いろいろ教えていただきました。ほんとにありがとうございました。さようなら。

## 日本での私

オスマン・ビシフ・ツン

私はオスマン・ビシフ・ツンで、マレーシアから来ました。私は国でぜんぜん日本語を話せませんでした。私は広島大学で日本語を勉強してあります。毎日私は大学へ自転車で行きました。とれで私の体は元気になりました。ほんとうに二十年ぐらい私は自転車に乗りませんでした。

私のクラスは全部で十人です。いろいろな外国から来ました。たとえば、インドネシア、パキスタン、ベトナムなどです。クラスは九時五十分にはじまって、として四時五十分におわりました。毎朝私はテープを聞きました。あとでテレビを見ました。しかし文法がありません。私たちはヤンさんのテープが一番好きです。午後のクラブは一時二十分からはじまって、としてクラスはみんなのグループにわがれました。天満先生が私のクラスの担任です。毎日私は勉強をしました。たとえ

ば、漢字の文法などの練習をしました。

私たちは金曜日に見学がありました。私はたくさん有名な所へ行きました。全部見学は楽しかったです。そして、今私は少し日本の文化がわかります。たぶんあと二年ぐらい日本で住んでいきますから日本の文化がもっとよくわかるでしょう。

時々私はホストファミリーの所へ行きました。そこで私は日本語を話しました。そして私はたくさん日本の料理を食べました。はじめは私は少ししか日本の料理を食べませんでした。しかし、今はたくさん日本の食べ物を食べます。

私のスピーチは終わります。先生とホストファミリーと私のクラスのみなさん、ありがとうございました。みなさん鳥取でまた会いましょう。さようなら

すごいね。。。

フランス・グルベール・イヨン

夏休みに旅行をしました。友だちと二人で  
いっしょに横浜へ行きました。その帰りに大  
阪大学の学生の加賀山陽子さんに電車の中で  
会いました。その時に私は陽子さんに名前や  
住所などを教えてあげました。陽子さんも私  
に同じ事を教えました。

陽子さんは私に聞きました。いつ日本へい  
くしゃいましたか。日本語は何か月習いま  
したか。私は答えました。今年の四月三日に  
日本へまゐりました。日本語を四か月ぐぐい  
習っています。「でもあなたの日本語は上手で  
すね。。。すごいね」と陽子さんは言いました。  
初め私は「すごい」を聞いてほとんど意味は  
わかりませんでした。「すごいすごい」意味  
は何ですか。私は陽子さんに聞きました。  
「すごいすごいの意味はすごいです」と陽子  
さんは言いました。二人で笑いました。すご  
いね。

「日本はどうですか」と陽子さんが聞きました。日本はすごいですよ、ほんとにすごい。私は言いました。インドネシアはどんな国ですか。陽子さんは聞きました。「じゃ、インドネシアの事を聞いて下さい。」と私は言いました。

アツアとオーストラリアの間にたくさんの島々があります。この島々がインドネシアです。東西約5200 Km。すごいね。南北約1600 Kmに広がる国の総面積は約192万 Km<sup>2</sup>で日本の約51倍です。すごいね。島の数は全部で13667あります。すごいね。大きい島はスマトラ、ジャワ、カリマントラ、スラウェシ、イリアンジャヤの五つです。

人が住んでいるのは約6000島です。人口は約1億7600万人です。えっすごいね。インドネシアは約300の民族が分かれ、言葉も250言語もあります。標準語はインドネシア語です。「すごいね」と陽子さんに言われました。



インドネシアには日本のような四季はあり  
ません。季節は乾季と雨季に分かれ、四月か  
分十月までが乾季で、十一月から三月までが  
雨季です。気温は年間を通して20℃～30℃で  
す。

え、電車は西条駅に着きました。すみませ  
ん、インドネシアの事はこれだけ。また私た  
ちで話しましよ。また会いましょ。私は  
言いました。時間が短いから長い間話すこ  
とがありません、ざんねんなかです。  
あごいね。

## 新かんせんから市電までの日本語

ハーン・マハムド

みなさんおはようございます。私は今年の4月10日に日本にまいりました。日本に来てから日本語の勉強をしました。私は国にいた時日本語の勉強はまったくしていません。今もまだじょうずに日本語が話せませんが、いたことがいくつかあります。

まずたいてい私が広島で日本語を勉強するきかたをあたえて下さったもんぶしょうにおおたいていだと思います。私がバキスタンにいた時、広島についでたくさんの方のことを聞いたりしました。広島は歴史と文化で有名なこくさいてきなところとします。広島のおきしについて私は子どものころ少し知っていました。それは父がいつもばんばくのことについて話してくれたからです。広島に来てからさしよに広島ばんばくドームに行きました。とてもかたしく、それはそうぞう以上でした。

それから日本語のコースがはじまりました。

さいしょのころ先生がたはとても親切でやさしく英語をつがってじゅぎょうをして下さいました。じゅぎょうのスピードは新かんせんのようにでしたが、私にはよくわかりました。しかし、コースがすすむとスピードはJ Rになりましたが、先生がたはとてもこおくなり、まるでおおがみのようでした。日本語だけのじゅぎょうになり、私は先生がたの口だけを見ていました。「かんばって下さい」といつも言わねていました。でもその時は「かんばって下さい」のいみがよくわかりませんでした。だからいつもわらうだけでした。この5か月の間私は何が一番楽しみだったかごぞんじですか。それは夏休みです。夏休みの間は先生がたと友あひくしていりからです。

私はエソールにもおねいをいいたいと思います。私たちのためにホストファミリーをしようかいして下さいほんとうにありがとうございました。私はホストファミリーといろいろな所にいたり、しゅうかんが文化のちがい

についてたくさん話しました。

親切に教えて下さったすべての先生がたこ  
いっしょに勉強した友だちにおお（い）い（い）た  
いと思います。こねがらちがった大学で研究  
しますが「がんばって下さい」。最後にみい  
様ほんとうにありがとうございました。

## 不思議な日本

リカルド・ジャビエル

私はリカルド・ジャビエルと申します。  
今年の4月にブラジルから研究生として日本  
にまいりました。ついに私の昔の夢が実現し  
ましたか、心の底では半分はとても不安でし  
た。それはいわゆる「カルチャーショック」が日  
常に何回もあるので、いくら国の文化や習慣  
などを調べておいても、外国でくらすことは  
いつも非常にむずかしいと思います。日本の  
場合は特別そうだと感じていたものですから。  
しかし、今半年にもなりません、実際に  
日本の生活になじむのは思ったほど難しくな  
かったです。やはり日本の社会の規則は多い  
し、きびしいし、母国ととてもことなります。  
また言葉と料理の問題ももちろんありました。  
ブラジルで日本語を長い間勉強しましたが、  
日本に着いたらすごくよっきゅうぶまんにな  
りました。なかなか会話力がつかないが、  
新聞やテレビなどもぜんぜん分かりませんで

した。

それにもかかわらず、私は今からその6カ月前を見れば、けっこうよくて、うれしい経験だったという確信があります。それは広島大学の先生と学生係や、国際文芸会館の人たちやブラジルとさまざまな国の友達やホストファミリーなどのおかげです。みんなにお世話になりました。

その期間に授業の議論と友達との話し合いで日本文化と社会についてよくなりましたけれども、日本は今でも私には不思議な国だと思います。日本の家族、教育、若い世代、会社、経済などを見れば、理かいていけないところは少なくありません。小さいところを見ると、日本人の逆説的な態度もあると思います。たとえば、日本人は世界中に親切な人として有名です。私もそうと思いますが、公共のバスと電車などにのる時にだれも列を守らないし、席をゆずらないし、みんな前にいる人をあちのけで、逆だとかいいます。

日本人は自然が大好きだと言われます。そして日本庭園は自然の小型のとおりにならされたし、文学にも自然のえいぎょうが強いです。さしみも好きだそうです。でも、その逆に、どこでも日本の昔の立派な川はダムのために小さな流れに変化させられますし、美しい森はゴルフ場にされるし、どうろのみにある土地はコンクリートのかべにかえられるし、海はゴミとテトラポットをすてる場所にされました。

長所のめずらしい点もあります。日本の労働者をかんさつしたり、どんなしょく種にもかかわらず、みんな会社などの所有者のようにな所けん命働いています。私たちはこういう態度を見習うべきだと思います。

しかし、多分一番ぶくざつなのは日本人々とお互いの関係です。ここに日本人から説明してもらおう時に、ほんね、たてまえ、あななどの分かりにくい言葉が聞かれます。時々「これは日本人しか分からない」といういろいろ

りする返事が出てきます。

私は今から出雲市にある島根医科大学で一年半以上研究する予定です。そこで研究室の人たちとほかの日本人の友達とふれあいのきかいは今までより多いはずで、それらの人たちから日本と日本人についてまだたくさん習うきぼうがあります。帰国の時に、そんなことを、長所と短所をいかにめて、たいぶん分かるようになったり、どんなにうれしいでしょう。それは私のしょう来のせいかつに非常に役に立つ経験となるでしょう。



楽しいの生活をください

シンボル・ルーテス

この日本語のクラスでは女は私だけでした。時々もんだいがありました。しかしこのもんだいよりも、いいこゝろがたくさんありました。私はもっとそうぞうてきで、もっとどくりつてきになりました。

私の級友のみなさん、ありがとうございます。みんなにんたい強くなりました。だけれども、時々自分のもんだいがありました。

私は先生方に感謝したいです。先生はみんなほんとにいい先生で、私たちを受け入れてくださいました。このクラスには十一人のいろいろなこせいと七つのいろいろな外国のぶんかがありました。

五か月前に私たちはこの大学にかんげいして来たきました。そして、ここで私たちの日本の知しきがゆたかになりました。きょうから私たちには新しいちようせんがあります。みんないろいろな研究をします。だから、